

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公表番号】特表 2005-520429 (P2005-520429A)  
 【公表日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-026  
 【出願番号】特願 2003-577450 (P2003-577450)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 Q 7/36 (2006.01)**

**H 0 4 B 5/02 (2006.01)**

**H 0 4 Q 7/38 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 4 A

H 0 4 B 5/02

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 3 月 20 日 (2006.3.20)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 3 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 3 5】

#### スキームのポーリング

複数の実施例では、スケジューラ 0 1 0 8 は、プロセッサ 0 1 0 1 上で実行されるソフトウェアとして実現されており、周期的に W C I 0 1 0 0 をポーリングし、ワイヤレスメディアよりのフレームをレシーブする。スケジューラ 0 1 0 8 は、前記フレームのフィールドをデコーディングすることによって識別子の検出ファンクションを実行する。スケジューラ 0 1 0 8 は、次に、識別子をトリガするトリガ識別子のプレゼンスをアップデートする。スケジューラ 0 1 0 8 は、検出された識別子の、最も新しいプレゼンスを有するトリガコンディションを評価する。そのような訳で、スケジューラ 0 1 0 8 に関連する識別子を含むワイヤレスメディア上のメッセージの小さな断片しか存在しない場合、識別子検出ファンクションを実行するためには、プロセス 0 1 0 1 が強化される必要がある。故に、割り込みスキームが、電力消費を減少させるべく後続の実施例において考察されている。消費電力に関する問題は、モバイルコンピューティング環境においては主要な関心事である。